

第14期千葉県生涯学習審議会第4回会議委員意見・
第5回会議事前説明委員意見への対応

番号	意見の概要	意見への対応	対応箇所
1	今までの答申には、「答申を終えて」のような文章を付けていた。具体化していきたい方向や県の役割として今後やってもらいたいことを記載する部分が、1ページ程度付くべきだと思う。 (重栖委員)	冒頭に「はじめに」を追記。	P.1
2	博物館・美術館、図書館・文書館に関する答申や計画との関連について触れた方がよい。 (久留島委員)	「はじめに」に、生涯審におけるこれまでの審議や、答申を踏まえて策定された諸計画との整合を図る旨を追記。	P.1
3	「リスクリング」という言葉について、最近の報道や国の取組の中でも扱われることが増えているため、答申に一文加えた方がよい。 (乾委員)	「生涯学習をめぐる現状認識」社会情勢に、産業界ではリカレント教育に加えてリスクリングの充実が求められている旨を追記。	第1章 1(1)イ P.2
4	「リカレント教育」の用語解説として、「仕事と教育を繰り返す」から「仕事と学習を繰り返す」にした方がよい。 (乾委員)	リカレント教育の注釈を修正。	第1章 1(1)イ P.2
5	ジョブカードとリスクリングについては、新しく言葉が出てきたときに注釈があるとわかりやすい。 (渡部委員) リスクリングは企業が主体の言葉で、企業が社員にスキルを獲得させることという用語解説があった方がよい。 (乾委員)	リスクリングとジョブカードの初出箇所に注釈を追記。	第1章 1(1)イ P.2 第2章 3(3)イ P.33
6	生涯学習パスポートについては、資料として例示してあった方が浸透しやすい。 (二村委員) 生涯学習パスポートをどう使ってよいか、何をしてよいかわからない状況で、これを使いましょうと言われても難しいので、どんなツールなのかをわかるようにしてほしい。 (久留島委員)	「学習成果を社会に生かす仕組み」取組の現状に、記録できる具体的な内容、生涯学習パスポートの配布方法、ページ構成の例示を追記。	第1章 2(3)ア① P.20
7	生涯学習パスポートが普及しない理由や課題をはっきりと記載し、その課題を解決するために、方向性のところで提案ができるとよい。 (久留島委員) 生涯学習パスポートが現状で使われていない理由が、確かめられたことなのであれば明言すればいいし、仮説なのであれば、仮説をもとに実際にやってみたら課題が解	「学習成果を社会に生かす仕組み」課題に、周知・活用につながる取組の検討や市町村との協力体制の必要性について追記。課題を受け、「学習成果の適切な評価」県の役割に、市町村連	第1章 2(3)イ P.22 第2章 3(3)イ P.33

	消されるかを検証していくというようなことが施策の方向性になってくると思う。 (乾委員)	携による周知・普及の必要性、機能充実や運用方法の検討と検証を続ける旨を追記。 市の役割に、生涯学習パスポートを活用することで、その人材を地域での活躍の場へつなぐ旨を追記。	
8	生涯学習の必要性を喚起することを、もう少し強調した方がよいと思う。実現のための視点の(1)に、需要の喚起について追記してもよい。 (渡部委員) 「実現のための視点」に、既存の個人の学習ニーズに合わせるだけでなく、社会が求める学習ニーズに対応した形で個人の学習意欲を喚起するなど、文言を調整しながら、この部分に意欲の喚起について入れるとよい。 (乾委員)	実現のための視点に、社会のニーズに対応した学習の意欲喚起を図る旨を追記。	第2章 2(1) P.27
9	本文の構成と概要版の構成に多少違いがある。「柱」や「区分」は本文にはないので、整理をした方がよい。 (重栖委員)	推進体系の施策の方向性に、 <推進の柱> <推進項目>と追記。	第2章 3 P.28
10	デジタル関係の取組を、市町村への期待とするだけでよいのだろうか。県もなんらかの支援をするべきではないか。 (久留島委員)	「学習機会の充実」県の役割に、ICTを活用した学習方法の開発及び市町村への普及の取組の必要性の記載あり。	第2章 3(1)ア P.29
11	公民館が減少している現状を踏まえ、今後の公民館振興について記載した方がよい。 (久留島委員)	「学習機会の充実」市町村に期待する役割に、地域コミュニティ推進のセンター的役割や防災の拠点としての役割についての記載あり。	第2章 3(1)ア P.29
12	生涯学習パスポートは、市町村レベルで周知をし続けることによって、ある日、自分も何か地域に出て役立ちたいと思うように気持ちが変わる場面があるときに使えるものにしてほしいと思う。幅広く使っていただくためには、間口を広く用意しておくことも必要かと思う。 (松本委員)	「学習環境の充実」県の役割に、学習意欲の喚起を図るために生涯学習パスポートの普及を図る旨を追記。 「学習成果を社会に生かす仕組みづくり」生涯学習パスポート等を活用した社会での活躍イメージに、生涯学習パスポートの機能を追記。	第2章 3(1)イ P.30 3(3) P.34

13	<p>「多様な学習情報提供」県の役割の部分について、学ぶ目的や得られる学習成果は、学習意欲を喚起する上での核になるため、この直後などに、学習意欲の喚起を行うという文が入っていると良い。 (乾委員)</p>	<p>「多様な学習情報の提供」県の役割に、学ぶ目的や得られる学習成果で体系化し、学習の意欲喚起を図る旨を追記。</p>	<p>第2章 3(2)ア P.31</p>
14	<p>学習の地域差や年齢差については、そこを自覚することが重要で、もう少し分析をしておく必要があるのではないかと。 (久留島委員)</p> <p>個人にとって必要な講座が必ず地元にある必要はなく、公民館に言って相談などのきっかけを受けて調べ、学習の場所へガイダンスをしていくことができる。ただ、現状だと公民館に行ったとしてもその情報を調べることができない可能性がある。だからこそ県民に学習情報を提供する体制をしっかりと作っていくべきであるという方向性だと思う。ここの接続をどのようにしていくかということを示せば、久留島委員の意見はカバーできるのではないかと。 (乾委員)</p> <p>情報提供の県の役割の部分に、地域差という課題を解決するために、のような一文が入ると明確になると思う。 (乾委員)</p>	<p>「多様な学習情報の提供」県の役割に、どの地域においても情報を容易に入手できるよう、環境を整備する旨を追記。</p> <p>「社会での活躍につながる学習相談」県の役割に、地域における学習相談体制整備の支援と連携について追記。</p>	<p>第2章 3(2)ア P.31</p> <p>3(2) P.32</p>
15	<p>イメージ図について、窓口をセンターに設置することだけでなく、その情報や相談に乗れることが、身近にあることがわかる図だとよい。 (田中委員)</p> <p>各市町村でも気軽に学習相談に乗れることが小さくても書いてあると、県民としてはわざわざ県のセンターに行ったり、その情報を得たりしなくてもよいことがわかる。 (濱詰委員)</p>	<p>「多様な学習情報の提供」市町村に期待する役割に、情報提供システムの周知・活用促進を、</p> <p>「社会での活躍につながる学習相談」市町村に期待する役割に、学習相談体制を整える旨を追記。</p> <p>活躍イメージの左上と右上に、「地域における学習相談」と、そこから「学びの総合窓口」へ伸びる矢印を追記。</p>	<p>第2章 3(2)ア P.31</p> <p>3(2)イ P.32</p> <p>P.36</p>
16	<p>本文中だと「学びの総合窓口」が後ろに来ている。最初にこれを強調した方がよいのではないかと。後ろに持って行った意図は何か。 (濱詰委員)</p> <p>→情報提供と学習相談について説明した後に出てきてしまうため、イメージ図で明確に中心に示した。</p> <p>イメージ図では学びの相談窓口が非常に強調されているが、本文ではP.30に少し書いてあるだけなので、もう少し書き加えた方がよいのではないかと。 (渡部委員)</p>	<p>「社会での活躍につながる学習相談」県の役割に、「学びの総合窓口」を構築する旨を整理して明記。</p> <p>学び直しによる生涯にわたる活躍イメージの【参考】を削除。</p>	<p>第2章 3(2)イ P.32</p> <p>P.36</p>

	<p>イメージ図は、単なる参考では伝わらないので、見せ方についてはちょっと工夫が必要かもしれない。</p> <p>(重栖委員)</p>		
17	<p>このままの説明では中身がちゃんと伝わらない。課長の説明にあった、地域社会と産業界での活躍で分けた、学習履歴の整理や資格等を記録できるツールを用意する旨を説明としてどこかに入れた方がよい。</p> <p>(重栖委員)</p> <p>文章の最初で生涯学習パスポートの定義がされているとよい。</p> <p>(乾委員)</p> <p>説明を増やす方向で検討してほしい。</p> <p>(重栖委員)</p>	<p>「学習成果の適切な評価」県の役割に、生涯学習パスポートの活用先として、地域社会のみから地域社会と産業界に拡大。</p> <p>生涯学習パスポートの機能充実やジョブカードへの接続について記載を整理。</p>	<p>第2章 3(3)イ P.33</p>
18	<p>ジョブカードの例示があった方がよい。</p> <p>(二村委員)</p> <p>生涯学習パスポートは例示がありわかりやすくなった。</p> <p>ジョブカードについての例示はしないのか。</p> <p>(安藤委員)</p>	<p>ジョブカードの注釈に、記載できる内容を追記。</p>	<p>P.33</p>
19	<p>生涯学習パスポートが今後活用できるというイメージが具体的に見えてくると、次の生涯学習の発展につながるイメージづくりがしやすくなるのではないか。今後県としてはこれをどんどん活用していき、生涯学習の一つのツールとして扱っていくということが具体的に見えるとイメージが付きやすいと思う。</p> <p>(濱詰委員)</p> <p>生涯学習パスポートの活用先として、地域活動としてだけでなく企業や産業界も含まれるように表現されているとよい。</p> <p>(乾委員)</p>	<p>「学習成果を社会に生かす仕組みづくり」に、生涯学習パスポート等を活用した社会での活躍イメージとして、学習から活躍の流れを追記</p>	<p>第2章 3(3) P.34</p>
20	<p>生涯学習パスポートのメリットの明示とその周知普及という言葉が入った方がよい。</p> <p>(乾委員)</p> <p>ジョブカードと同様に、生涯学習パスポートも的確な説明があるとよい。</p> <p>(濱詰委員)</p>	<p>「学習成果を社会に生かす仕組みづくり」生涯学習パスポート等を活用した社会での活躍イメージに、生涯学習パスポートの2つの機能を追記。</p>	<p>第2章 3(3) P.34</p>
21	<p>活躍イメージに、リスキリングも見据えていることがわかるような記載があるとよい。</p> <p>(渡部委員)</p> <p>例えば、職業につながる学びの民間教育機関の「人材育成研修サービス」の後に、「リスキリング」を加えるのはどうか。</p> <p>(乾委員)</p>	<p>学び直しによる生涯にわたる活躍イメージの「職業につながる学び」に、民間教育機関の実施する学習としてリスキリングを追記。</p>	<p>P.36</p>